

# 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

## ● スタッフ（2019年10月1日現在）

診療科長 塚原 清彰  
 医局長 本橋 玲  
 病棟医長 稲垣 太郎  
 外来医長 井谷 茂人

医師数 常勤 26名  
 非常勤 18名

## ● 診療科の特徴

### 1) 頭頸部外科（主任教授 塚原清彰、臨床准教授 清水頭、准教授 岡本伊作、助教 岡田拓朗、助教 渡嘉敷邦彦）

当院ではこれまでに7000名以上の頭頸部癌治療を行ってきました。2019年の頭頸部癌の手術件数では、全国で6位、関東で5位と多くの手術を行っています。早期癌に対しては従来の放射線治療に加え、ロボット支援手術や咽喉頭内視鏡手術も行っています。進行癌に対する化学放射線療法、機能温存手術、拡大手術・再建手術についても各種学会、学術誌で報告し高い評価をいただいています。再発・転移頭頸部癌に対してはニボルマブなどの免疫チェックポイント阻害剤を含めた薬物療法も積極的にを行っています。

週に1回、放射線診断部・治療部および口腔外科とがんセンターを主催し、一次治療や治療効果判定、追加治療の有無について検討しています。がん研有明病院、がんセンター東病院、国際医療福祉大学三田病院などと人的交流も行っています。6人の頭頸部がん専門医が在籍しています。

### 2) 耳科（教授 河野淳、准教授 稲垣太郎、講師 太田陽子、助教 白井杏湖）

聴覚・人工内耳センターを中心に難聴診断や中耳炎・人工内耳の手術を行っています。日本で人工内耳手術を初めて行った施設で、これまでに1000例を超える人工内耳手術を行ってきました。また補聴器診療実績は都内トップの実績を誇ります。近年では難聴遺伝子診断も行っています。慢性中耳炎や難聴、顔面神経麻痺などに対するQOLの向上を目指した手術も積極的に行っています。

### 3) 鼻科（教授 大塚康司、講師 矢富正徳）

最新のハイビジョンシステムとナビゲーションシステムを用い副鼻腔炎から腫瘍性疾患まで幅広く対応する内視鏡手術を行っています。難易度の高い、前頭洞炎に対するDraf手術や上顎洞乳頭腫に対するEndoscopic medial maxillectomyも積極的に行っています。涙嚢炎や鼻涙管閉塞症に対して眼科と協力して内視鏡下鼻腔涙嚢吻合術を行っています。

### 4) めまい（教授 大塚康司、准教授 稲垣太郎、教授 小川恭生【八王子医療センター】）

めまいの原因は多岐にわたることが多く、問診、身体

所見、各種検査に基づき論理的に診断をつけていきます。前庭機能検査として、赤外線 CCD カメラや ENG 検査で眼振の観察・記録を行い、病巣診断としてカロリックテスト、cVEMP、oVEMP、vHITを行っています。Dizziness Handicap Index (DHI) や QIDS-SR 等のアンケートを用いて、めまいによる日常的障害や抑うつ状態のチェックも行います。結果によりメンタルヘルス科に相談することもあります。めまい外来終了後にはカンファレンスを行い、その週の新患や問題症例の治療方針を検討しています。新患登録数(2019年)は327症例でした。3人の日本めまい平衡医学会専門会員が在籍しています。

### 5) 音声（講師 本橋玲、講師 齊藤雄、助教 庄司祐介、兼任教授 渡嘉敷亮二）

音声障害、声帯運動障害の精査のため積極的に3DCTによる診断を行っています。また喉頭麻痺に対する披裂軟骨内転術、痙攣性発声障害に対するボツリヌス注射、甲状軟骨形成術Ⅱ型、甲状披裂筋切除術、喉頭外傷後喉頭形成など複雑な疾患・手術に対応しています。一方、入院を希望されない方には外来日帰り手術を行っています。当院で考案した屈曲カテラン針を用いた手術にて声帯ポリープや声帯嚢胞の切除、喉頭麻痺、声帯炎に対しての声帯内注入術等を行っています。

### 6) 嚥下（講師 齊藤雄、助教 岡田拓朗）

耳鼻咽喉科医師3名、口腔外科医師2名、摂食・嚥下障害看護認定看護師2名、管理栄養士1名、言語聴覚士3名でNSTチーム医療として行っています。評価には嚥下内視鏡検査、兵頭スコアを用いています。内視鏡における評価で、適切な食形態、リハビリ方法を選択しています。食形態はゼリー、嚥下調整食2（ペースト食）、嚥下調整食3（きざみ・とろみ食）、嚥下調整食4（軟食一口大）、常食に分け、水分はとろみ無し・とろみ1.0%・とろみ2.0%に分け、複雑な食形態に対応可能です。リハビリは言語聴覚士により食事を使用しない間接訓練から実際に食事を使用する直接訓練まで、段階を踏んで行きます。すべてのスタッフが食べることを通して患者さんのQOL改善に努めています。

### 7) 睡眠時無呼吸（講師 矢富正徳、兼任准教授 北村剛一）

循環器内科、口腔外科とともにチーム医療を展開しています。小児でも可能な限りポリソムノグラフィーを行い、客観的評価に基づき手術適応を決めています。成人では動的MRI撮影による閉塞部位の特定を重視しており、結果により適切に鼻閉改善手術、口蓋扁桃切除術、口蓋垂軟口蓋咽頭形成術、舌扁桃切除術、オトガイ舌筋前方牽引術などを選択し手術成績の向上に努めています。

2019年 手術報告

頭頸部		429	
再建 (46) *皮弁2つ 併用あり	遊離再建 (33)	前腕皮弁	6
		大腿外側皮弁	19
		腹直筋皮弁	6
		空腸	2
	有茎再建 (23)	大胸筋皮弁	17
		DP皮弁	1
		広背筋皮弁	3
		側頭筋肉皮弁	1
	胃管	1	
頸部	頸部郭清術	150	
原発 (再建)	咽頭喉頭頸部食道摘出術	12	
	下咽頭切術	0	
	喉頭全摘術	11	
	食道全摘術	1	
	中咽頭切除術	4	
	舌半切～全摘術	15	
	上顎部切術	3	
	上顎全摘術	2	
	拡大上顎全摘術	2	
	口腔底手術	1	
	側頭骨垂全摘術	2	
	外耳道悪性腫瘍手術	0	
原発 (局所切除) or (良性腫瘍)	耳下腺摘出術	45	
	甲状腺摘出術	12	
	顎下腺摘出術	7	
	喉頭部分切除	1	
	上顎部切除術	1	
	中咽頭 (経口)	13	
	ELPS	34	
	TORS (ダヴィンチ)	5	
	LMS	19	
	口腔底部切術	1	
	舌部切術	7	
	プロボックス挿入術	1	
	リンパ節摘出術	4	
	その他	20	
	耳		270
	人工内耳埋込術	67	
	鼓室形成術	42	
	鼓膜形成術	7	
	乳突洞削開術	4	
	アブミ骨手術	10	
	外耳道腫瘍摘出術	5	
	鼓室開放術	1	
	半規管遮断術	1	
	鼓膜切開術	1	
	鼓膜切開 (外来)	60	
	鼓膜チューブ挿入術	14	
	鼓膜チューブ挿入術 (外来)	43	
	外耳道形成術	1	
	外耳道異物除去術 (外来)	11	
	耳瘻管摘出術	1	
	その他	2	

鼻		443
	内視鏡下副鼻腔手術 II型	4
	内視鏡下副鼻腔手術 III型	54
	内視鏡下副鼻腔手術 IV型	116
	内視鏡下副鼻腔手術 V型	3
	(ナビゲーション使用)	54
	鼻中隔矯正術	73
	粘膜下鼻甲介切除術	56
	下鼻甲介切除術	61
	鼻副鼻腔腫瘍摘出術	3
	涙嚢鼻腔吻合術	3
	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術	6
	鼻茸摘出術	1
	鼻茸摘出術 (外来)	2
	異物除去 (外来)	4
	粘膜焼灼術 (外来)	51
	その他	6

口腔・咽喉		230
	アデノイド切除	15
	口蓋扁桃摘出術 (側)	52
	軟口蓋形成手術	21
	舌扁桃切除術	26
	咽頭喉頭異物摘出術 (外来)	45
	膿瘍切開術	1
	扁桃周囲膿瘍切開	54
	舌小帯形成手術	1
	唾石摘出術	1
	唾石摘出術 (外来)	9
	その他	5

喉頭		60
	喉頭形成術 (プロボックス含)	6
	ラリngoマイクロサージェリー	24
	外来手術	30

その他		80
	気管切開術	49
	気管孔閉鎖術	1
	リンパ節摘出術	8
	リンパ節摘出術 (外来)	5
	リンパ節群郭清術	6
	深頸部膿瘍切開術	5
	頸瘻・頸部嚢胞摘出	4
	茎状突起切除術	1
	その他	1